

埋文やまがた



2018年9月10日

Web版第5号
(第61号)

中学生による 職場体験

→
上山市立南中学校のふたり。遺物の記録方法の一つ、「拓本」の作業を始めます。まずはやり方をしっかりと聞いてからです。手前に見えるマンガ本は、採った拓本のシワを延ばして乾かすためのものです。



←
翌日は「実測」と呼ばれる遺物の図化作業に取り組みました。埋文の仕事は、どれも緻密で根気のある作業になります。

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ : <http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス : ya@yamagatamaibun.or.jp

平成30年度 山形県内の発掘調査

今年度は、国土交通省山形河川国道事務所・山形県教育庁から委託を受け、3遺跡3件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、5遺跡の報告書を刊行します。

発掘調査事業

(8月31日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	藤島城跡第7次	鶴岡市	中世	城館跡	5月28日～7月6日
2	川前2遺跡第5次	山形市	古墳・奈良・平安	集落跡	6月6日～10月25日
3	中野目Ⅱ遺跡	山形市	奈良・平安	集落跡	6月4日～10月25日



中野目Ⅱ遺跡



川前2遺跡



整理作業

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	業務内容
1	上竹野遺跡第1・2次	大蔵村	縄文・弥生	集落跡	報告書作成・刊行
2	山形城三の丸跡第15・17・19次	山形市	奈良・平安・中世・近世	集落跡	報告書作成・刊行
3	藤島城跡第7次	鶴岡市	中世	城館跡	報告書作成・刊行
4	八反遺跡第1～3次	東根市	縄文・古墳～中世	集落跡・墓地跡	報告書作成・刊行
5	八幡一遺跡第1・2次	川西町	奈良・平安・中世	集落跡	報告書作成・刊行
6	清水遺跡第1～7次	村山市	奈良・平安・中世	集落跡	報告書作成
7	羽黒神社西遺跡1・2次	村山市	縄文	集落跡	報告書作成
8	八幡西遺跡1・2次	川西町	奈良・平安・近世	集落跡	報告書作成
9	野田遺跡	遊佐町	縄文・奈良・平安	集落跡	報告書作成
10	下中瀬遺跡	遊佐町	奈良・平安・近世	集落跡	報告書作成

埋文センターへようこそ！

見学等のみなさん



山形県立山形鑿学校小学部
校外学習(5月17日)

山形県埋蔵文化財センターでは、常設の展示品の他、センター内で行っている業務や発掘現場を公開しています。今年も授業の一環として、あるいはセンターや発掘現場を会場とした研修会等の利用がありました。

上市市立南中学校
キャリアスタートウィーク(7月3～5日)



見学・研修等でのご利用のお申し込みは、随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



平成30年度 山形県市町村文化財担当者研修



遺跡の概要説明



断面図作成の実習

昔むかしのくらし体験!!

今年も、夏休みのお子さん向けに、子どもミュージアムを企画しました。『昔むかしのくらし体験!!』と題して、県内の遺跡から発掘された遺物の展示と、体験学習を実施しました。火起こしや縄文食体験など、リピーターとなって楽しんで下さる方もいらっしゃいました。

(7月23日～8月17日までの期間で実施され、現在は終了しています。)



考古学クイズ ～山形の遺跡編～

これまで、山形県埋蔵文化財センターでは、県内にある遺跡について、数多くの調査を行ってきました。

このコーナーで、少しでも県内の遺跡や文化財、考古学に興味を持っていただければ幸いです。

Q. 昨年発掘調査した佐佐町野田遺跡で、斎串(いぐし)とよばれる長さ30cmほどの細い板状の串が、多数発掘されました。何に使ったものと考えられているでしょうか

A. ① お萩(はらい) ② 料理 ③ 遊び・ゲーム

ヒント：前号 Web 版4号(第60号)の野田遺跡のページをご覧ください。

答えは次号(Web 版6号(第62号))の「埋文やまがた」で!

(バックナンバーはセンターのホームページから見るができます。)

遺跡(埋蔵文化財)とは「過去の間活動の痕跡」で、一般的には地下に埋蔵されているものことです。集落跡や古墳、貝塚、城館跡など様々な種類があります。

野田遺跡は、佐佐町にある奈良～平安時代の集落跡です。今回発見された斎串などの木製品は、地中に長期間埋もれると、通常は腐って無くなってしまつてしまうのですが、地下水位が高い場合など水漬けされた状態になり酸素が遮断されるので、雑菌の繁殖が抑えられ、現代まで残る場合があります。掘り出された直後から劣化が始まるので、保存には特別の処理が必要になります。

編集後記

今年の夏は、まさに異常とも言える猛暑日の連続でした。発掘の現場は、日差しを遮るものがないのが

普通なので、連日過酷な環境下での調査となりました。地球温暖化は、考古学にとっても難敵です。